



—町のスローガン—

豊かな自然みんなで

拓く町 伸びる町

●水田農業確立対策班長会議… 2・3

●特集・増える子供の成人病予備軍

…… 5

●カメラルポ「雪ん子ふれ合いの

集い」… 6・7



新町子供会のえびす俵奉納

祈願！五穀豊穡、家内安全
唄とほら貝で威勢つけ、ぼん天・えびす俵奉納

近年にない暖冬に見舞われた今年のお正月—
老方地区伝統行事のぼん天奉納、えびす俵奉納が1
月5日に行われました。五穀豊穡、家内安全などを祈願す
るこのお祭りに今年は町内会や子供会などから7本のぼん天やえ
びす俵がお目見え、それぞれに老方地区の各戸を、唄やほら貝で威勢を
つけて巡ったあと、寺田の御嶽神社などに無事奉納を終えました。

広報

2月

いがしゆり

No. 383

題字 / 佐々木青洋氏（東由利町出身）

打ち出される集団・団地化

水田農業確立対策協同班長会議を開催

来年度から実施される水田農業確立対策の、転作等目標面積を配分する「水田農業確立対策協同班長会議」が1月22日有鄰館で行われ、各自治会の農業協同班長や同代理が出席しました。

会議では、水田農業確立対策推進協議会長である畠山町長が、「減反分をいかにして金にしていけるか——農家のほんとうの力量が問われる時代となった。これまでの奨励金依存の農業から脱皮し、意欲をもってこの新しい制度に立ち向かっていってほしい」とあいさつ、また東由利農協小笠原組合長が、「いまが農業の試練と考え、経営者としての認識を新たに、これまでの反省を踏まえながら互いに力を出し合ってこの難局を乗り越えよう」とあいさつし、転作面積の配分方法や他用途利用米の配分方法などのほか、転作の集団化、団地化を推進することなどについて、町・農協が説明し協力を要請、会議を閉じました。



水田の2割を減反する今年の稲作—転作への取り組み方が問われる……

他用途利用米は 集落に配分

水田農業確立対策で県から配分を受けた転作等目標面積は、昨年より74%多い246%で、町では各農家への転作面積を一律21・2%の転作率で配分しました。ただし、このうち21・5%（60%袋で1、898俵）は他用途利用米とし、同米を生産する農家からは数量を面積換算し、配分面積から差し引くことになりました。

また、同米の配分は、いままでどおり30%単位で行いますが、

集落ぐるみ、団地・ 集団化に加算金

これまでの転作奨励金は水田農業確立対策助成補助金と名称を変え、総枠（全国）で2割削減されました。新しい補助金体系と、対象作物は左記のとおりですが、これまでになかったえん麦などの地力増進作物と飼料用米が転作作物として認められています。また、これまで同様加算制が

これまでの一律配分とは異なり、62年度では水田面積が50%未満の農家には配分しない—水田面積によって集落（自治会単位）に配分し、集落では対象者間で調整し配分する—ことにしました。集落に配分することにしたのは、水田の合理的な利用などをねらいとした地域営農加算などの助成金の交付対象となるよう考慮したためで、こうしたことから転作への集落ぐるみの取り組みなどにも期待が寄せられるところudur。

なお、政府売渡申込限度数量（左記参照）は、昨年と同じ方法で配分することになっています。

設けられ、農家個々で取り組んでいた転作を、地域（集落含）ぐるみの話し合いで水田を合理的に利用し生産を農協が中心となつて計画的に進めていくものには地域営農加算が—団地化、集団化など、生産性の向上につながる営農をする場合には生産性向上加算が加えられることになっています。

こうしたことから、今後の転作にあたっては、集落ぐるみ、団地・集団化にむけた対応策が必要とされるところです。

2割減反！私はこちらする

減収分は牛で
カバーしたい



小野富弥さん
（須郷田）

昨年は23%にデントコーンと牧草を作付けしましたが、今年は新たに10%増え、水田面積の減少に頭を痛めています。しかし、転作面積割当て分の消化は義務であり、私の場合には肉用牛3頭を飼っていることから、やはり飼料作物であるデントコーン、牧草を作付けするつもりです。残念なことは奨励金がこれまでの半分以上になることで、減収分は少しなりとも肉用牛から捻出したいと考えています。

集団を強化、他用途米は互助方式で



佐々木善一郎さん
（大琴）

減反開始以来私たち大琴農業協同班では、転作に集団で取り組み、団地化を形成してきました。一昨年は、肥料な

転作作物を選定し 作付けを推進

町・農協では、62年度の転作の推進方策について——作業の共同化、受委託化を進める——集団化、団地化を進める——な

どのほか、個々の収穫量が微少で市場出荷に結びつかない野菜等の作物について、出荷を目的とした作付けを進めるとし、そのために作物を選定、おおむね次の作物の作付けを推進していくことにしています。

▼大豆（価格が安定しており、

転作の集団化、団地化に結びつく）

▼アムスメロン、サヤエンドウ、サヤインゲン、アスパラガス（由利郡全体で市場出荷できる）

▼スイートコーン（畜産と結合できる）

▼カボチャ、スイカ、フキ（加工し付加価値をつけて出荷できる）

また、このほか転作作物とは別に、高冷地野菜作付推進のため、標高200m以上にある高原地への夏秋ダイコンの作付けを奨励していくことにしています。



水田農業確立対策協同班長会議（Ⅱ・有鄰館）

転作目標面積

62年度	61年度	増減
246 ha	172 ha	74 ha

政府売渡申込限度数量（）はもち米

62年度	61年度	増減
71,352 俵 (711)	76,769 俵 (811)	△ 5,417 俵 (△100)

他用途利用米生産予定数量

62年度	61年度	増減
1,898 俵	1,500 俵	398 俵

転作作物として認められるもの

一般奨励作物	麦、豆類、飼料作物、地力増進作物、飼料用米、花き等
永年性作物	果樹、転換畑、養魚池、園芸施設等
特例作物	生食・加工用野菜、葉たばこ、こんにゃく等

水田農業確立対策助成補助金（10a当たり）

区分	基本額	生産性向上加算	地域営農加算
一般奨励作物	20,000円	20,000円	10,000円
永年性作物	25,000	20,000	10,000
特例作物	7,000	5,000	5,000

※基本額は全国平均です。

水田農業確立対策への意欲拾う 3地区で新春恒例の座談会開催

町公民館地区分館の主催する新春恒例の地区座談会が、住吉、蔵、老方の3地区で1月7日と8日に行われました。

同座談会は、各地区における町政への要望等を、町の3役と各課長出席のもとに出し合い、

その場で町側の回答を得るもので、今年も道路整備や生活環境整備などに要望が殺到、町が回答しました。

また、62年度から始まる水田農業確立対策についての質問もそれぞれの地区から寄せられ、

町が内容の説明と基本的な取り組み方について述べたのに対して、出席した農家の方たちから、「私たち農家は、これまでになく大変な事態に直面した。これからは、農家自らの真剣な取り組みが必要だと痛感している。今後町・農協の指導を得ながらより以上の努力を重ねていきたい」などの意見が出され、新しい制度を深刻に受けとめながらの、農家の意欲的な一面を同座談会で伺うことができました。



住吉地区新春座談会（Ⅱ・八塩館）

一石二鳥のスィートコーンを栽培



佐々木甚一郎さん（新町）

ら6千袋は入る共同利用の資材倉庫を、組合員の経済負担をせず人夫協力だけで建設するなど、団結の強さ、大きさを改めて感じています。新しく始まる水田農業確立対策についても、すでに（正月）に組合員が集まって協議、他用途利用米を互助方式とすること、補助金カット分は各加算金でカバーすることなど、より以上の体制で集団、団地化を進めていくことにしています。

大幅な転作面積の増加で、作付けする作物に頭を悩ましたが、友人のすすめもあり、スィートコーンを作付けすることにしました。作り方が簡単なうえ、出荷も夏ダイコンと一緒に横浜市場にできるようですし、収穫後、殻を牛の粗飼料として利用できることから、一石二鳥です。水田農業確立対策によって全国的に野菜等の作付けが増えることと思いますが、根気よい栽培で道が拓けることを信じて、友人らといっしょにがんばるつもりです。

今年こそ無火災を

消防出初式で新春一番の祈願

新春恒例の出初式が、1月6日大琴小学校体育館で行われました。

会場には町消防団員をはじめ200人余りが参集、畠山町長が無火災を祈願する薬玉を割ったあと、消防活動に功勞している消防団員に表彰状が、また、昨年退職された消防団員や消防用地協力者などに感謝状が贈呈されたほか、昨年町内で発生した火災の初期消火に大きく貢献

された方たちに、本荘地区消防事務組合管理者から表彰状が贈られました。

このあと、畠山町長が、「昨年は残念ながら7件の火災が発生。しかし、いずれも大事には至らず、被害も少なかった。今年こそ火災ゼロを目指し、消防団員を中心に町民一丸となって火災予防意識を一層高めていこう」と告辞を、また、佐藤力消防団長が、「今年も健康には十

分注意しながら、町民の生命と財産を守るための消防活動に鋭意努力をお願いする」と、訓辞を述べました。

写真は、消防活動に勤続し県消防協会長から表彰を受ける町消防団員。



出初式受賞者

昭和62年町消防出初式で、消防活動に功勞された方や協力された次の方々に表彰状や感謝状が贈られました。(敬称略)

秋田県知事表彰

▼25年勤続章・畠山昭雄

(本部団員)

▼20年勤続章・莊野高光(2副分団長)・畠山勉(1部長)

・佐々木精喜(5部長)・八嶋祝雄(1班長)

秋田県消防協会長表彰

▼功勞章・高橋隆男(本部長)・畠山昭雄(本部団員)

▼勤続章(15年)・遠藤常雄(2部長)・高橋賢太郎(3部長)

・小松芳久(1班長)・梅津嘉人(5班長)・横山玉一(1団員)・高橋長一(1団員)

▼勤続章(10年)・小松宣夫(2班長)・佐藤周一(3班長)・大場隆(2班長)・遠藤利美(4班長)・佐藤良一(1団員)・遠藤幸男(2団員)・遠藤忠雄(同)・畑山吉基(同)・小松俊一(同)・古関国雄(同)・小松重文(同)・小松正明(同)・小松良徳(同)・遠藤憲一(4団員)・小笠原慶悦(同)・小野長一(同)

東由利町長表彰

▼模範団員・佐藤誠(1団員)・長谷山喜悦(同)・高



講演する登内社長

町議会では、このほど町誘致企業秋田信英(株)社長登内英夫氏を迎え「議員研修会」を行いました。同研修会では、登内氏が「円高の中の日本経済とこれからの企業経営」と題し講演を行ったもので、ここで講演内容の一部をご紹介します。

させていただきます。

農工一体について

今日の円高の原因は日本の工業製品の海外進出によるものであるが、しかし、これができなくなれば工業と共に農業も衰退していく。

人づくりに対する厳しい提言も…

登内秋田信英社長を講師に議員研修会

それは、農業が食糧法という補助政策で支えられているからであり、その財源は工業によるところが大きいからである。そのため、どうしても農工一体の考え方を持たなければならず、私は、農業の余剰労働力を吸収す

るような企業形態が、農業にとっても企業にとっても一番いいことであると考えている。そして、現代の農業は1町歩ほどの農業だったから余暇を利用して十分やっていける。私どもの会社では交替制の変則勤務体制をと

では大変だと思うが、乗っけてしまえば、むしろ魅力ある労働形態になると考えている。次代を担う青年たちへの期待について——今の青年は忍耐、努力に欠ける。大変失礼だが、秋田と長野を比べると、秋田の方に根性のない人間が多いように思える。これは、どうも家庭のしつけの甘さの原因があるように考える。社会の中で忍耐や根性がなかったら一人前の仕事はできない。ぜひ、もっと辛ばう強い人間になつてほしいし、そのための家庭のしつけを徹底してほしいと思う——と、人づくりに対する厳しい提言も述べられました。

特集

増える子供の成人病予備軍

予防は食生活と運動で...



元気に遊ぶ子供たち

がん、心筋梗塞、脳卒中といった成人病は、一般に大人だけがかかる病気と思われがちです。ところが最近では、若者や小さな子供たちの間にも「成人病予備軍」が増えているといわれます。とくに、血液の流れが悪くなっている心筋梗塞や脳卒中といった循環器系の成人病は、子供のころからの悪い生活習慣の積み重ねによって発病するこ

とがわかっていきます。

いつまでも健康で長生きしてほしい

子供にそう願わない親はいません。

そのためには、親が子供に正しい生活

習慣を身につけさせ、成人病の「芽」

が出ないようにふだんから気をつける

ことです。成人病の予防は、子供の

きから始めることが肝心です。

肥満が「予備軍」のバロメーター

子供が成人病予備軍になりやすいかどうかを見分ける重要なバロメーターが肥満です。

文部省の調査によると、小・中学生の肥満児童・生徒は、12・13年前と比べて約2倍に増えています。また、かつての子供に比べて、肥満の程度がひどくなっているという指摘する専門家も少なくありません。

肥満が進むと血中のコレステロールが増えます。コレステロールが血管の内壁に付着すると、血液の流れが悪くなり、動脈硬化や高血圧の症状となって現れ

体を動かせる環境づくりを

子供を成人病から守るために

は、何より太らせないことが第一です。

近ごろは、食生活への関心が高まり、毎日の食事に気を配っている主婦も多いようですが、肥満のもう一つの原因である運動不足については、まだまだ認識が薄いようです。放っておけば疲れ果てるまで体を動かして遊び、肥満などに

ます。

このような状態を放っておくと、しまいに脳や心臓などの大切な所に血液が流れにくくなり、致命的な脳梗塞や心筋梗塞を引き起こしてしまします。

ところで、成人病の恐ろしい点は、自覚症状がほとんどないまま、どんな病気が進行していくことです。ましてや子供は成人病に関する知識が乏しいわけですから、周囲の大人が機会あるごとに成人病の恐ろしさや予防方法を子供に話すことが望まれます。

は絶対ならない——というのはかつての子供。このごろは外で遊びたくても場所がなければ仲間もない、交通機関の発達で長く歩くこともない、家にいてもゲームやテレビで楽しめる、といった体を使わない環境がますます増えています。昭和54年の国際児童年に行われた各国の児童の国際比較でも、屋外で遊ぶ時間が最も短かったのは日本の子供でした。

食生活に気を配ることはもちろんですが、これからは子供が伸び伸びと体を動かせるような環境を親が意識的につくってやることが望まれます。

子供の肥満を防ぎ、恐ろしい成人病から守るためにも……。

東由利町消防団長表彰

- 橋定敏(2班長)・畠山芳一(2団員)・小松正明(同)・小松良徳(同)・畠山茂(3団員)・畠山金悦(同)・小笠原慶悦(4団員)・遠藤憲一(同)・阿部法久(同)・佐々木信一(5団員)・佐々木安彦(同)・木島博(同)・畠山和雄(同)
- ▼甲種精勤章・菊地章(2団員)・大場義信(同)・鎌崎和博(同)・小野啓二郎(3団員)・小松平栄(同)・石綿工(4団員)・遠藤薫(同)
- ▼乙種精勤章・千葉長一郎(2団員)・佐藤貴志(同)・小松仁(同)・高橋春雄(同)・小野源行(3団員)・鈴木将(5団員)

東由利町長感謝状

- ▼退職団員・太田久(前4分団長)・小野勤(前5副分団長)・工藤正悦(前4班長)・小野源一(前4班長)・工藤隆(前本部団員)・遠藤明夫(前5団員)・佐々木伯漢(前5団員)
- ▼消防施設用地協力者・小野富勝(高屋)・横山藤四郎(智者鶴)・畠山治雄(大吹川)・渡辺与七(田代)
- ▼消防施設管理協力者・八嶋トヨエ(黒淵)

本荘地区消防事務組合 管理者表彰

- ▼火災現場協力功労者・佐藤君栄(黒淵)・小野喜一(祝沢)

「第2回雪ん子ふれ合いの集い」が、1月13日東由利中学校サッカーグラウンドなどで行われ、町内小学校3年生以上中学校2年生までの子供やPTA会員など約400人が参加しました。

この催しは、町青少年健全育成町民会議（畑山昭一会長）などが、子供たちに雪に親しんでもらうことで雪国東由利への郷土意識を高め、併せて仲間同士のふれ合いを深めさせることで青



箱ゾリレース



雪ん子ふれ合いの集い

雪の上だからころんでも大丈夫とばかりに、すさまじく闘った騎馬戦。



優勝トロフィー争奪で激戦が繰り広げられた雪上綱引き大会。優勝は大琴小学校区でした。

春を待つ92人

今春の新入学児童は、昨年より10人多い92人です。すでに健康診断や知能検査も終え、みんな春を待ち遠しくしています。

八塩小 24人

〈智者鶴〉 畑山 英明

小松 和紀 下小路

〈泡の淵〉 遠藤 千春

小松田達也 館西

〈向田〉 菊地 和紀

横山志和子 八日町

〈石高〉 小松 諭

佐藤 輝幸 五海保

横山 雅弥 嶽石 文悟

斎藤 広子 嶽石 薫

佐藤 紀子 小松 雪絵

〈田代〉 畑山奈保子

小松 円佳 久保

〈時雨山〉 鈴木奈保子

小野 善幸 山崎

〈須郷田〉 小松 則夫

柴田和佳子 松柴

〈館合新田〉 高橋由香里

高橋 良 高橋真奈美

〈宇戸坂〉 高橋 一美

高瀬小 42人

〈新町〉 小野恵美子

志村 哲郎 小松 由紀

伊東 純子 佐藤重矢子

佐藤奈津美 佐藤

〈横小路〉 寺田

古関 竹志 佐藤 真澄

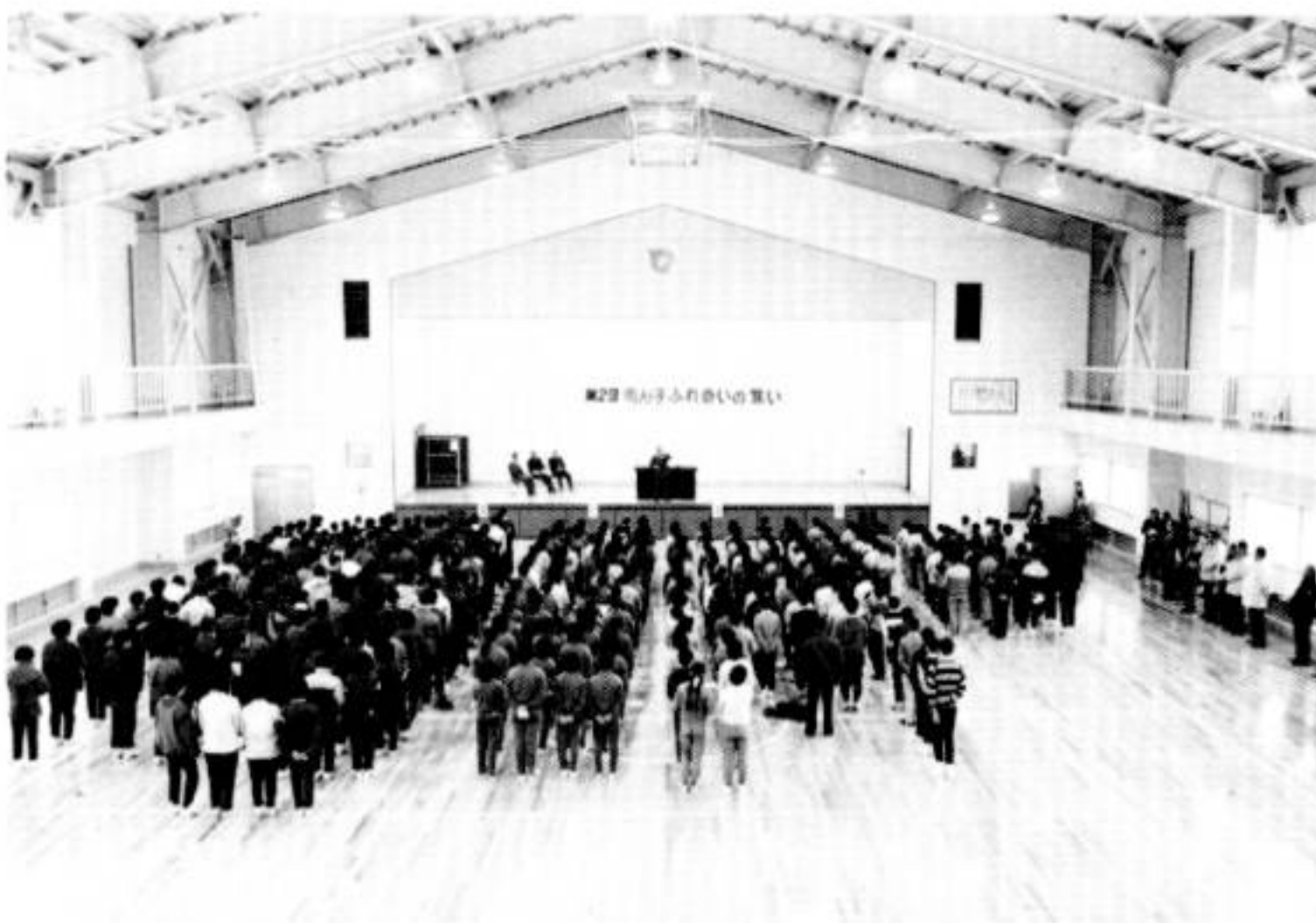
〈上通〉 佐藤こずえ

小松 優 高橋ひとみ

佐藤 睦美 畠山奈美子

この日は、今春オーブンする健康増進センターで開会式を行ったあとメイソン会場の東由利中学校サッカーグラウンドに移動、小雪がちらつく中で子供たちは、雪上綱引き大会、箱ゾリレース、騎馬戦などに雪まみれになりながら熱中しました。

ゲームでくたくたになつた子供たち



開会式は完成したばかりの健康増進センターで行われ「ふれ合いの歌」（スキーのうた）を元氣よく斉唱、寒さを吹き飛ばしました。



目玉ゲームの箱ゾリレースでは、4人1組となった雪ん子たちがグラウンドをひと周り。



この日は、NHK、ABS、AKTの各テレビ局が取材に訪れ、夜には全県に報道されました。(写真〓取材をするAKT渡辺アナウンサー)

小笠原雅人	《祝 沢》
畑山 裕美	畠山 晃

横渡

宮の前

木島 卓也
小松 靖

高橋 達也
《黒沢》

小野 由佳	小野 兼寿
-------	-------

佐藤 麻有
野田

木島友秋

阿部弘美
遠藤良人

蔵
工藤和弥

伊藤 祥平
佐藤 陽

石渡 伸
――十二の前――

大庭	孝	遠藤	宏明
----	---	----	----

可部 是
可部 音

〔蔵新田〕
〔桂台〕

可部	阿部
宮子	泉
小倉	阿部
	希

伊東 隆子
河部 忍

小野麻由子
遠藤和美

高橋 彩子
遠藤 隆広

島
遠藤まゆみ

大琴小 || 26 人

大琴
——
畑山あゆみ

阿部一成

石	阿	嘉	烟	昇
帛	音	仁	山	
民				
己				
／	／	／	／	／
宥				
／	／	／	／	／

阿部 美香
小野 隆

梅津かおり
鈴木ユミ子

小野万里子

〈大台〉

佐藤 晃子
木島さとみ

舟木

大庭 幸人
阿部由美子

大庭	大介	鈴木奈津美
大庭	恵美	鈴木奈津美

大庭 恵美	針木 友
長谷山 志子	〔大次川〕

高屋 明彦

小野 隼人
袖山

小野みゆき
高橋友和

佐藤まゆこ

小笠原博之——鈴木小百合

まわりの話題

●歳時記
こたつ

こたつは頭寒足熱式の理想的な暖房として昔から親しまれてきました。
「最近家族のコミュニケーションがなくなつて困るけど、冬になるとこたつに全員集まるので楽しい」と言っている人もいます。
近ごろは外国人にもこたつの愛用者が多いようです。米食、とくに寿司がアメリカで喜ばれ、また日本の布団を愛用する外国人が多いと聞くと、日本のヤングが、それらを見直す「逆輸入現象」が目立ちますが、こたつもまたそうなるのかもしれませんが。

そういえば、一般に掘りごたつといわれる腰掛式のこたつをよく見かけますが、あれを最初に作ったのは、イギリスの陶芸家バーナード・リーチ氏で、明治の末のことだといわれています。
2月はこたつなどの暖房でエネルギーを多く消費する季節なので、資源エネルギー庁では、2月を「省エネルギー月間」と定めています。現在は原油価格の低下や円高の影響などで、エネルギー事情はひところほど悪くはありませんが、こういう時こそ油断せずにエネルギーを効率よく利用する習慣を身につけたいものです。

Machino wadai

雄物川町勢が入賞独占

新春将棋大会

囲碁は佐藤謙さんが優勝

新春将棋大会が元日町商工会館で(参加22人)、新春囲碁大会が1月15日役場休けい室で(参加9人)行われました。いずれも町の愛好会が開いているものですが、将棋大会は、平鹿郡雄物川町の将棋愛好会と合同で行っているもので、当日は両町勢とも一手ごとに盤上を見つめ火花を散らしながらの勝負でしたが、一般の部では雄物川町からの参加者に入賞を独占される結果に終わりました。成績は、将棋高校生部①佐藤敏夫(下小路) ②佐藤謙(館西) ③小松佳和(田代) ④渡辺信徳(田代)でした。



新春将棋大会(左・商工会館)

職場対抗
バレーボール

大沼組Bチームが優勝

15チーム参加で和気あいあいに

15チームが参加し和気あいあいの中で行われた職場対抗家庭バレーボール大会

今年で15回目を迎えた町商工会青年部(佐藤知泰部長)主催の職場対抗家庭バレーボール大会が、1月18日東由利中学校体育館で行われました。今大会にはこれまでで最高の11事業所15チームが参加、A・Bブロックに分かれた総あたり戦による49試合の結果、優勝を大沼組Bチームが、準優勝を東幸自動車チームが、第3位をマルサカソーイングチームが勝ち取りました。この日会場の外は吹雪模様でしたが、詰めかけた150人余りの選手や応援団は、和気あいあいの中で繰り広げられる好ゲームに寒さを忘れ、なごやかな1日を過ごしました。

農業振興シンポジウムに参加して

ウムに参加して

1月23日(金)郡内各市町から多くの参加者を得て、「由利地区農業シンポジウム」が、農業の活性化と地域産業の発展のために開催された。この催しに、郡内市町長を代表してパネラーとして発言する機会を得たことを光栄に思う。さて、「水田農業確立対策」



がスタートし、戦後農業の時代から新しい日本の農業時代を迎えたいま、世界経済の中で揺れ動く日本農業の実態をふまえ、シンポジウムではそれぞれの立場から真剣な意見がのべられた。

県農協中央会長佐藤秀一氏は記念講演に立たれ——世界の農産物の中でのこれからの日本農業：外国に競争できる生産物を：不可能でない。恵まれた好条件の国土、これまで培われてきた優秀な技術、そして世界に誇る勤勉性と能力。これからは、本物指向の時代。自らの地域で何ができるのか、徹底して見なおしを行い、良いものを作り、ニーズにこたえて、人のものより良いものを安く売る。そのための創意工夫：農業に生きる道はこれしかない。：できる。：と、強く訴えられた。パネルディスカッションでは、農業をとり巻く厳しい環



税金の申告相談は次の日程で

税金の申告相談を次の日程で行います。申告書は、町・県民税等の賦課資料となる大事なものです。昭和61年中の収入明細や支払証明書等を準備し、正しい申告をしましょう。出稼ぎ者や会社員等で勤務先から源泉徴収票を交付されている方は、確定申告をすることによって、納め過ぎた所得税が戻されることもあります。詳しくは役場税務係にお尋ねください。

			午前 (9時~11時まで)		午後 (1時~3時まで)	
月	日	曜	自治会名	会 場	自治会名	会 場
2	9	月	大琴(上・中)	高瀬館	大琴(下)	高瀬館
	10	火	船木・畑村・奥ヶ沢	船木会館	宿	宿 会 館
			下 吹	下吹会館		
	12	木	高 屋	高屋会館	土場沢	土 場 沢 館
			沼	沼 分 校	杉 森	杉森会館
	13	金	横小路・下通	役 場	上通・中通	役 場
	16	月	三税申告相談	有 鄰 館	三税申告相談	有 鄰 館
			新 町 (1~4組)	〃	新 町 (5~8組)	〃
	17	火	寺田・茂沢	役 場	湯出野・上里	役 場
			祝 沢	祝沢会館		
	18	水	横渡・蔵・島	大 蔵 館	岩館・新田・宮の前	大 蔵 館
	19	木	小 倉	小 児 童 館	中の沢・高村	小 児 童 館
			野田・新処	克 セ ン タ ー	十二の前・桂台	克 セ ン タ ー
	20	金	黒沢・大台	黒沢会館	板 戸	板戸会館
			大吹川・須郷	大 吹 川 館	袖 山	袖山会館
	23	月	家の下・下小路・宇戸坂	玉米支所	館西・八日町・五海保	玉米支所
3	24	火	新田(上・中)	新田会館	新 田 (下・跡見坂)	新田会館
			山 崎	山崎会館	久 保	山崎会館
	25	水	松 柴	松柴会館	須郷田	須 郷 田 館
	26	木	向田・智者鶴(松台除く)	向田会館	黒淵・葎沢	八 塩 館
			泡の淵・松台	泡 の 淵 会 館		
	27	金	地下の沢	地下の沢 館	高戸屋・下小	時 雨 山 館
			新 沢	新沢会館	屋・時雨山	会 館
	2	月	石 高	福 祉 館	田 代	福 祉 館
	3	火	所得税	役 場	所得税	役 場
	4	水	所得税	〃	所得税	〃
	5	木	所得税	〃	所得税	〃
	6	金	所得税	〃	所得税	〃

下通子供会から心暖まる善意届く

「遊具の建設に役立てて…」と1万余円

「学校の遊具づくりに役立ててください」と、下通子供会(小松佳司会長・会員14人)から、冬休み明けの1月19日、高瀬小同子供会担当の小笠原琴子先生に現金1万620円が届けられました。このお金は、同子供会が正月恒例のえびす俵奉納の際に得た御初穂(寄付金)の一部と、1月18日に行った空ビン回収の収益金で、今年同校PTAが計画しているアスレティックなどの手作り遊具の建設費用に少しでも役立てば…とする自発的な善意によって届けられたものです。

突然の心暖まる善意に小笠原先生は、「苦勞して集めたお金をありがとうございます。きつとりっぱな遊具ができると嬉しいです」と、感激しながらお金を受け取っていました。また、「下通子供会は、交通安全ストップマーク塗りなどのボランティア活動を進めており、それらを通して善意の心が芽ばえ初めているのではないのでしょうか」と、子供会活動の成果を喜んでいました。

小笠原先生(左)に善意のお金を渡す小松会長(中央)と長谷山副会長(右)



境を打破する道を探る意見が練りひろげられた。県指導農業士の小笠原察雄氏は、米作偏重農業を指摘。畜産など複合による農業収入を高める努力を…。本荘市商工会の荒川参治副会長は、補助金漬けの農業からの脱却を…。本荘青果市場社長尾形功氏は、地場産野菜類の比率の向上を…。行政の立場から私は…山間、へき地、豪雪というハンディを背負う農山村に若者を定着させるには、農業の余剰労働力を吸収して農外収入を得る就労の場の確保が先決。企業誘致による農工併存の町づくりの実例として、この3年間に200人を超える若者の雇

用の場を創出したことを…。子吉農協組合長佐藤謙一氏からは、農産加工やふるさと便などの実例と、これからは農協、行政の一体的指導がより重要なことを…。

—それぞれの立場からのべられたが、意見の集約は—これからの農業は、市場原理と、勝つための法則、などによる目標設定を正しく持ち、やる気おこしを重視しなければならぬこと。—農村に生きるための意識改革が重要であるといえるようであった。「水田農業確立対策」は、自立できる農業を目指し、農家自身の自覚を強く促していることを忘れてはならない。

みんなのひろば



佐藤スミ子さん・智者鶴
21歳・兵太郎さん二女

ヤングレポート

33

「もつと感情を表面に出せるような人間になりたい」と、自分の性格が内気なことをほめかしていたスミ子さん。昨年成人式を迎えたばかりで、ういいういしさを体一面に漂わせ21歳のお嬢さんでした。

家族は、両親、姉、妹、弟2人7人ですが、現在は両親と3人暮らしで、昨年春に茨城県からUターン、同4月から由利アパレル(株)で縫製工として活躍中です。Uターンのきっかけは——

都会にあこがれて上京したん

由の一つとなつていのが「狩猟」で、55年に免許を取得し「狩りの味」を覚えて今年で7年になります。今シーズンに入りすでに16匹の野ウサギを射止めています。今年も卯年ということもあって、子供たちの批判が絶えないとか。「野ウサギは有害動物で、大切な杉を保護するためなんだ、と話しても納得してくれませんが」と、困惑の表情で語っていました。

これまで、町公民館袖山分館長や、町体育指導委員として活躍。現在は大琴小学校PTA会長として、地域の第一線でがんばっています。

ですけど、時が経つにつれて不安を感じるようになったこと、それに、故郷の人たちの心の温かさに未練を感じたことです。

帰って来てどうですか——

周りの人たちが皆やさしく、心の温かい人ばかりなので、安心して暮らせることにとても幸せを感じています。

今一番したいことは——

どこか遠くへ旅行したい……。

一番楽しいときは——

音楽を聞きながら編みものをしてるとき……。

すっかりとした意志を持つ男性が理想の人というスミ子さんは「好きな人は?」の質問に対しては「ノーコメント……」でした。

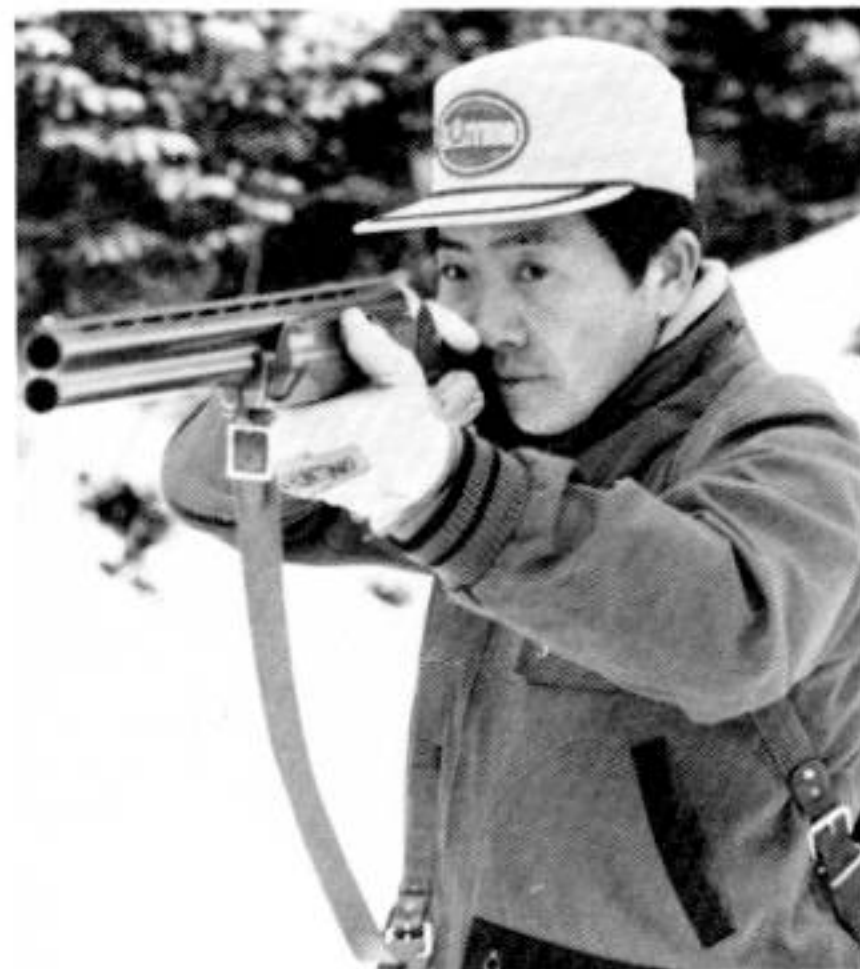
われら中年 がんばりますます!

23

武田秀夫さん(須郷・42歳)

出稼ぎをやめ、マッシユルムのカ培を定着

水田2、7畝、マッシユルム約50坪(ハウス栽培)、肉用牛4頭の専業農家で、6年前まで出稼ぎを16年間経験しましたが、それ以後転作田を利用してマッシユルムを栽培、今ではこれを出稼ぎに代わる冬の仕事とし



て定着させています。「マッシユルムは、病気さえつかなければ坪当たり2万12万5千円収入になり、出稼ぎほどの収入はないまでも冬の生活費にはなります」と話し「もう出稼ぎはしません」と、きっぱり——。

武田さんが出稼ぎをやめた理

由の一つとなつていのが「狩猟」で、55年に免許を取得し「狩りの味」を覚えて今年で7年になります。今シーズンに入りすでに16匹の野ウサギを射止めています。今年も卯年ということもあって、子供たちの批判が絶えないとか。「野ウサギは有害動物で、大切な杉を保護するためなんだ、と話しても納得してくれませんが」と、困惑の表情で語っていました。

これまで、町公民館袖山分館長や、町体育指導委員として活躍。現在は大琴小学校PTA会長として、地域の第一線でがんばっています。



東由利の文芸

(俳句)

白鳥の番いとおもふ影並べ

小松 正昭(家の下)

障子の穴上へ上へと子は育つ

小松 女沙(下小路)

松七日飽きぬカルタや暮ひそむ

阿部 ナミ(蔵)

孫の名を書いて待ちおりお年玉

阿部 澄子(蔵)

手鞠唄うたう子もなく良寛忌

小笠原亮子(蔵新田)

出稼ぎの帰り土産に福寿草

小笠原トミ(ク)

鶏冠の赤く揺れいる寒卵

小野 貞子(ク)

大寒の鴉見ている水の底

高橋 秀子(横渡)

私の赤ちゃん

31

小野志穂ちゃん(新町)

61・1・8生まれ

浩市さんと、まき子さんの長女



アンヨもしつかり板につき、悪戯盛りの私、1歳。今日はね、机やタンスの引き出しを開けて、中の物を出して遊んだの。とってもおもしろかったヨ。エヘッ。だけど、お母さんは、すごい顔で私を叱ったの。どうしてなのか私、わかんない?—— 志穂



佐々木イチさん
(大琴)

食べ物に好き嫌いのない子育てを



中学校のPTAに行ったときに聞いたのですが、最近、校内に貧血の生徒が十数名も居るということでした。実は、私の上の子供も、中学校のときに貧血にかかり、中学、高校と医者通いをし、就職して3か月目には入院、2週間で退院しましたが、現在も薬を欠かさず飲んでいいる状態です。私たちが小さかったころは、病気になるかといえはカゼぐらいでしたので、現代の豊かな食生活では考えられないことですが、やはり偏食が原因でしようか。次代を担う若い人たちに、正しい食生活で健康のために、小さいころから食べ物に好き嫌いのない子育てをしていきたいものです。

みんなのひろば



題・「自画像」



はやと
小松逸人くん
高瀬小・3年



みか
大沼美香さん
高瀬小・3年

金婚さんいらっしゃい

(22)



佐々木 儀助さん・73歳
チヨミさん・71歳
下通・結婚歴52年

「息子8人と娘1人、そして13人いる孫が皆マメなことが何よりの幸せです」と語る佐々木さんご夫妻。チヨミさんが42歳のときに生まれた末っ子も昨年結婚し「あとは何も心配ことはない」と、うれしそうに話していました。

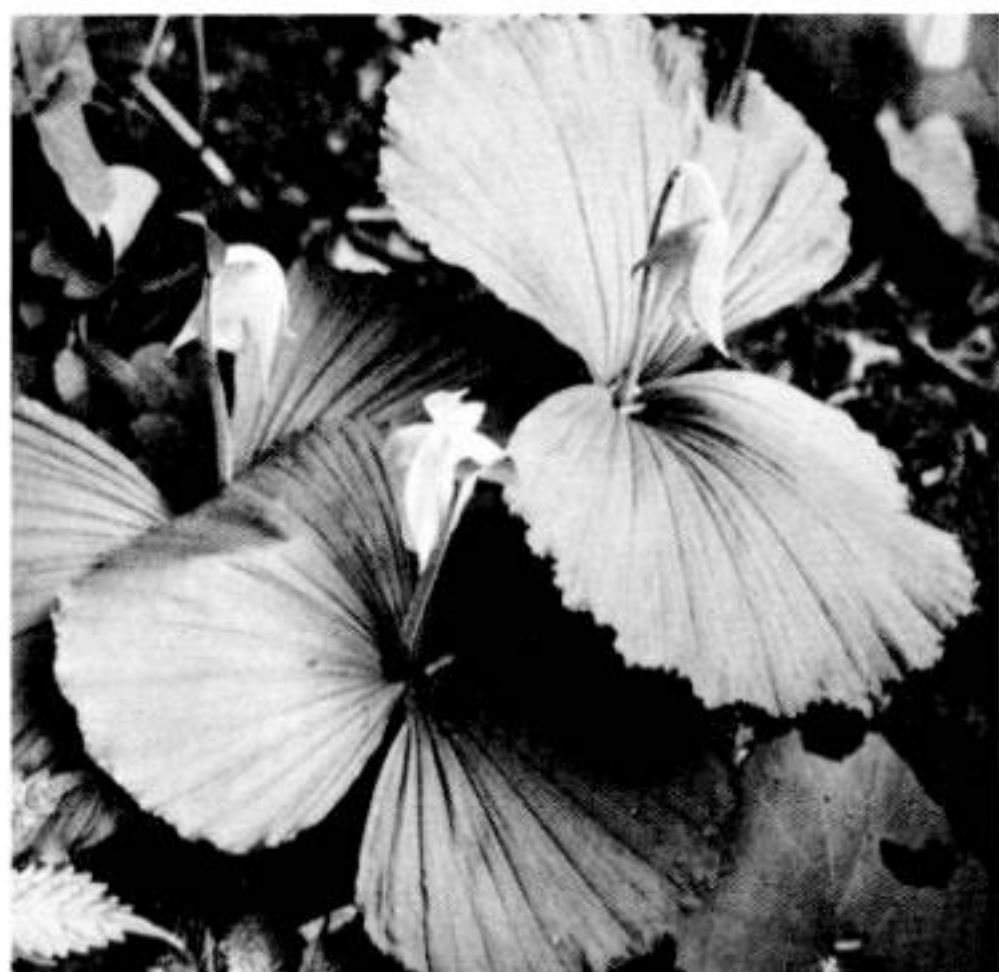
儀助さんは4年ほど前に農業から遠ざかり、今では老人クラブやことぶき大学への参加、そして、魚や山菜採りを一番の楽しみにしています。また、だまっていられない性分だというチヨミさんは、夏は畑仕事や草取り、冬は針仕事などに精を出すと共に、今だに婦人会に在籍、若さの維持に努めています。

病気知らずのお二人——どうぞいつまでもお元気で——。

公民館「図書」案内

- 国史大辞典(吉川圭三) ●秋田の山歩き(藤原優太郎) ●中国の歴史・シルクロードの旅(手塚治虫) ●健康実用大事典(本郷左智夫) ●火の鳥・太陽編(手塚治虫) ●ザ・村おこし(ふるさと農業研究会編) ●秋田の手づくり四季の味・聞き書・長野の食事・極道の妻たち(家田莊子) ●離婚と子ども(ゴールドスタイン) ●家族(スタジオ・アヌー) ●情報・知識イミダス(堀内末男) ●雲のはて(K・Mペイトン) ●ヴィーチャと学友だち(ノースフ) ●床下の小人たち(メアリー・ノートン) ●名探偵カッレくん(リンドグレーン) ●愛ふたたび上・下(K・M・ペイトン) ●ジャン・ヴァルジャン物語上・下(ユーゴー) ●アラビアン・ナイト上・下(ディクソン) ●思いの出のマーニー上・下(ジョーン・ロビンソン)

わが町 スムア・フ



クマガイソウ (ラン科)

郷土の野草



(23)

花が平家物語に出てくる熊谷次郎直実という武将の背に負っている母衣(よろい)の背につけて飾りにしたり、流れ矢を防いだりした道具)に似ているというのでこの名があります。本町にも群生地が各所にありますが、最近の山野草ブームで乱獲する人が多く、所在は明らかにできませんが、林中のゆるい傾斜地に多い草で、2枚の扇のような葉の間にピンクがかかった黄褐色に斑点のある独特の形をした花をつけます。この草は葉も花も珍らしいため採集してきて鉢で育てようとする人もいますが、鉢ではむずかしく、工夫が必要です。(小松忠正)



(31)



千葉滝子さん
(宿出身・52歳)

へおばこなんぼになる
この年くらせば十と七つ
古里のみなさま「こんにちば」
古里を離れてから十と七つを何回過ごした事でしょう。
帰郷する度に次々と新設されていくすばらしい公共施設、田んぼを真二つにした広い道路、見事になる古里・下郷、玉米、頼もしくもあり、また寂しく思うのは、五十路を歩く私だ

けでしようか…。昭和16年に国民学校へ入学、5年生で終戦、新制中学へと、めまぐるしい変動の中で子供のころを過ごした私には、遠い日々を思い起こす時、まるで手品のごとく、只々目を見張る事ばかりなのです。ペコちゃんでおなじみの不二家製菓に勤めさせていただき、早や20年になろうとしています。子を育て、孫たちに恵まれながら

ら60歳の定年を目指して頑張っているこのごろの私にとって、「広報ひがしゆり」は、発展して行く古里の香り、また、格別な味わいを与えてくれる心の唯一のムードメーカーです。
古里東由利の田んぼの中にビルの建つ時代が来るかも知れませんが、でも、春の風で桜の花が咲き、夏の雨で山菜が育くみ、秋の夕日で紅葉が映え、冬は白一色になる——古里の山々……。いつまでもその姿を変えることなく、私たちの心の寄りどころとなってくれることを願い、そして古里東由利に幸多かれと祈りつつ——筆を置きます。
(お住い▽〒236神奈川県横浜市金沢区柴町159)

●町史編さん年次計画

年度	内 容
61	編纂委員会発足、執筆 者決定、資(史)料収集
62	資(史)料収集、執筆
63	同 上
64	同 上、原稿整理
65	校閲、編纂、印刷、 校正、発行

●町史編さん執筆者

- ・佐藤周之助氏(矢島町・矢島町史、仁賀保町史執筆者)
- ・大野憲司氏(県埋蔵文化センター主事)

●町史の形態

A5版で約1,000ページ(1ページ当たり19行52字)

町では町史編纂の準備を進めていましたが、このほど「町史編纂委員会」(委員7人)が正式に発足し、町史編纂業務を開始しました。
このため、現在、古記録(古文書)、明治以降(近代・現代)の資(史)料の収集を行っており、町内外問わず資(史)料をお持ちの方の協力(提供)を求めています。

東由利町史編さん委員会事務局(東由利町老方字台山36)
・東由利町教育委員会内
☎0184(69)2310

昔のことがわかる物(写真、手紙、役場の発行物など)をお持ちの方は、ぜひ次までご連絡くださるようお願いいたします。

町史編さん事業がスタート

資(史)料の提供にご協力を：

第3回 大平雪まつり

と き・2月21日(土)・22日(日)
と ころ・大平スキー場

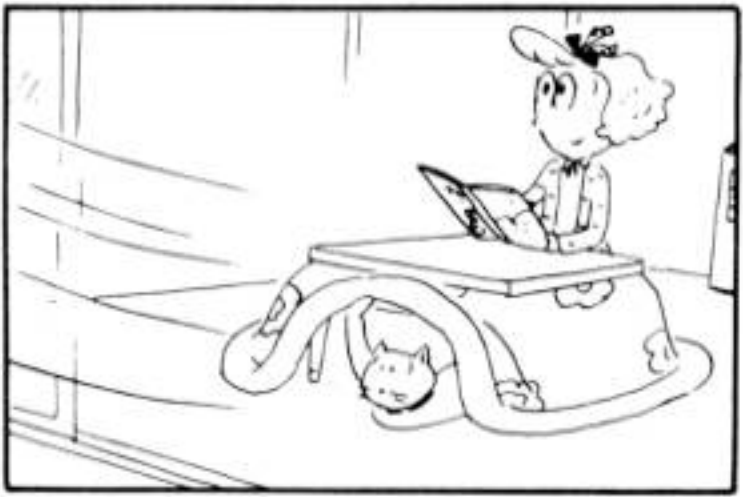
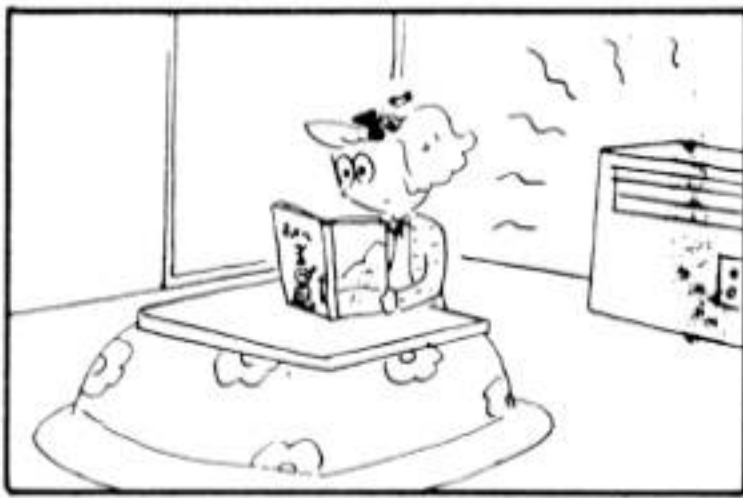


楽しいイベントに、たくさんの賞品や参加賞を準備しました。おしるこ、甘酒などの無料サービスのほか、各種売店も開設されます。ぜひお出ください。

主催・東由利町観光協会

さわやか君

西村 宗



東由利町老人クラブ連合会

「芸能部」

部長・大日向喜一さん

(宮の前)



⑩

町老連「芸能部」は、昭和55年12月に発足、月2回の定期的な集まりのほか、郡発表会への参加、年1回の1泊旅行を主な活動としています。郡発表会ではこれまでに二度優勝し名声を高くしたほか、昨年、東光苑に慰問に出かけた際には、入居者から大変な歓迎を受けました。今年もぜひ伺いたいと、皆張り切っています。部員は、95歳を最年長に、唄好き、踊り好きの14人で、毎回の集まりを何よりの楽しみに、長寿の秘訣とばかりに芸に勤しんでいます。

わが町スーパードット。

ひとくち統計メテ

▶土地利用編◀

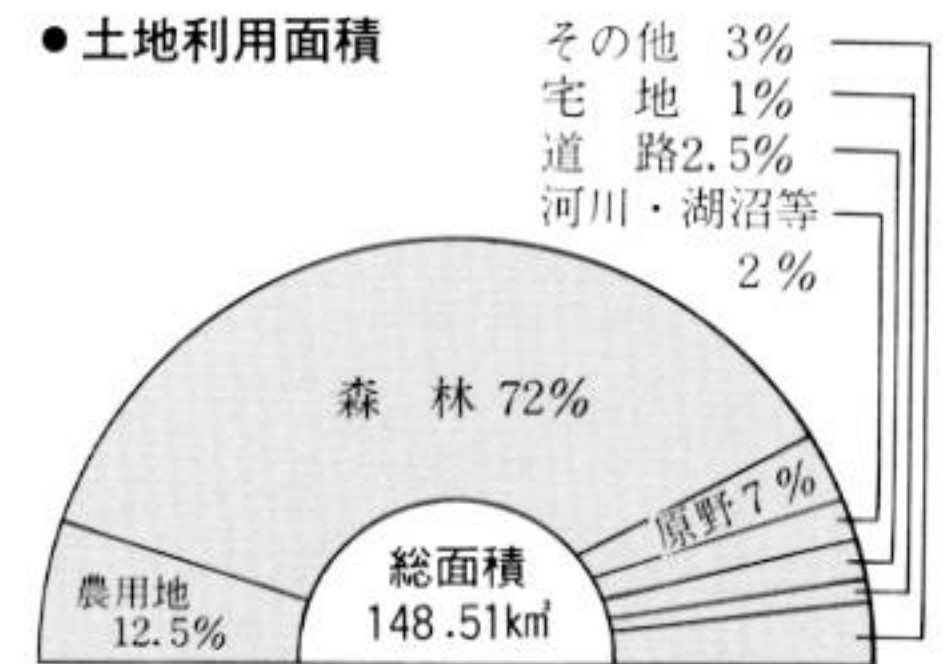
本町の総面積は148.51km²です。

このうち森林と原野が約80%で、森林、原野、河川・湖沼等を除いた可住地面積は約19%の27.8km²となっています。人口密度(面積1km²当たりの人口数)は39人で、県内では69市町村中55番目に位置します。

農用地は全体の12.5%、18.5km²で、このうちの79%は水田です。また、全体の72%を占める森林では、私有林79%、国有林13.3%、公有林7.7%の割合になっています。

(数値の一部は、県発行の「わがまちわがむら 100の指標」61年版を採用)

●土地利用面積



今月の催し

- 6日・健康大学(有隣館)
- 10日・ことぶき大学(朋楽荘)
- 17日・文化サークル発表会・生涯学習発表会(有隣館)
- 21日・22日・第3回大平雪まつり(大平スキー場)
- 24日・4か月児検診(有隣館)
- 25日・妊婦検診(同上)
- 25日・農業委員会(役場)
- 26日・機能訓練(有隣館)

畜産講演会

県畜産試験場技師
草薙 睦雄氏
町畜産指導員
鈴木龍太郎氏

2月26日(木)

9時半開会

有隣館

*ありがとう

町社会福祉協議会へ▼香典返しに替え金一封が、安倍孝志さ

ん(家の下)、宮塚昭三さん(新町)、高橋賢太郎さん(横小路)、阿部初三さん(杉森)から届けられました。ありがとうございました。

もし、水道を凍らせてしまった場合は：水道の解凍や破裂の修理は、町水道事業所(69-2110内線56番)か、下記の町指定水道工事店へ連絡してください。

長谷山施設	☎ 69-3807
加藤施設	☎ 69-2543
共栄施設	☎ 69-2437

もし、水道を凍らせてしまった場合は：

参加料 1チーム4千円
申込期限 2月3日(火)

50度数テレホンカード2枚1組(台紙付)2千円(送料別)。
申込先は、金浦町企画財政係。
☎ 38-2300

主催 本荘市由利郡卓球協会ほか
主 催 本荘市由利郡卓球

白瀬南極探検隊
75周年記念テレホンカード発売

詳しくは、事務局(株)本間印刷所内・☎ 22-1436にお問い合わせください。

情報コーナー

本荘市由利郡職場
対抗卓球大会
とき 2月8日(日)
午前9時開会
ところ 由利町民体育館



「新型除雪機…？」

撮影・阿部 茂さん(蔵)

東由利農協農機具センター自慢の
新型除雪機—と言いたところですが、職員がコンバインを
改造して作った特製ブルドーザーなんです。重宝してます…。



「スナップ」に町民のみなさんの撮った写真をお寄せください。

東由利'62

シリーズ・町内各団体長に聞く

テーマ〈私の考える町づくり〉

No.11 東由利町体育協会理事長 大沼武且さん

待望の町民体育館と、ナイター付の
テニスコートが、いよいよ今春オープ
ン。雪消えとともに明るい話題が町民
を待ちうけ、本町の社会体育はもちろ
ん、私どもスポーツ団体の活動の進展
に大きな期待が寄せられています。
生活様式の変化による運動不足が叫
ばれ、成人病との因果関係がクローズ
アップされていますが、こうした体育
施設の整備が、これらの問題解決に寄
与してくれることを願ってやみません。
しかしながら、せっかく整備された施
設も活用がなければ効をなさず、施設
の十分な活用を今から考えておきたい
ものです。健康の維持に、体力づくり
は不可欠です。そして、円満な家庭、
明るい町づくりの大きな柱になるもの
と確信しています。

私もひとりで……

今年の出稼者数は519人(1月末現在)です。
みなさん元気で働いていると思いますが、留守
家族の方々に激励のメッセージをお願いします。



正月過ぎもあまり雪は降ら
ず、今年の冬は例年より楽に
過ごすことができそうです。
深酒を慎しみ、健康を第一に
考えて働かれるようお願いし
ます。(鈴木アヤさん・袖山)

1月19日から学校が始まり、
友だちとも仲良く毎日楽し
く過ごしています。お父さん
も、からだに気をつけ元気に
働いて帰ってきてください。
(小笠原美奈子さん・土場沢)



雪が少ないのが何よりで、
雪降ろしの苦労もなく過し
ています。あと2か月余り、
気を抜かず事故にあわないよ
う注意して頑張ってください。
(畠山芳男さん・宇戸坂)

戸籍の窓口

(12/21) 1/20届出・敬称略

うぶ声



阿部 泰子(蔵) 陽悦(二女) 岩 館
畠山 和雄(蔵) 和雄(長男) 袖 山
小松 裕理(蔵) 肇(長女) 高 戸屋
畠山 健太(蔵) 正光(二男) 下 通
莊野 恵子(蔵) 功(長女) 五 海保

おくやみ



大日向喜美蔵(73) イチ(夫) 蔵新田
宮塚トキエ(86) 昭三(母) 新 町
千葉 トキ(75) 五郎(妻) 黒 沢
小松タケエ(85) 喜代(母) 中 通
高橋賢一郎(63) 幸子(夫) 横 小路
阿部 攻(43) いし(夫) 杉 森
小松アキノ(90) 喜一郎(母) 新 町

佐藤 麻美(蔵) 栄夫(長女) 中 通
石綿伸太郎(蔵) 孝悦(二男) 大 台

町の統計 1月 (12/1) (12/31)

人口 () 内は前月と比較	() 内は1月からの累計
・男 3,024人 (2)	●出生 9人 (60)
・女 3,113人 (2)	●死亡 5人 (46)
・計 6,137人 (4)	●結婚 一組 (31)
●世帯数 1,462世帯 (2)	●離婚 一組 (1)
●ゴミ処理量…………… 30 t (424)	
●火災発生件数…………… 0 件 (7)	
●救急車出動回数…………… 8 件 (96)	
●交通事故(人身)…………… 1 件 (17)	
●交通事故(物損)…………… 6 件 (43)	
●総合開発センター「有隣館」利用者数 1,379人 (21,274)	
●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 310人 (10,473)	

町民の声を町政に！

町長面会日今月は20日

出稼者のみなさん お元気ですか

出かせぎ先で広報を読ま
れている方も多数おられるか
と思います。宿舎が変更にな
るなど、広報や手紙の送り先が
変わったときは、すぐに役場
出稼相談所にお知らせください。
また、就労先で困ったこと、
心配ごとなどがありましたら
遠慮なくご相談ください。

東由利町出稼相談所
☎0184(69)2110